

第4回村上市保育園等施設整備計画審議会 次第

日時：令和3年7月8日（木）

午後2時00分から

会場：市役所 大会議室（4階）

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

- （1）第3次村上市保育園等施設整備計画（素案）について……………資料1-1、1-2《事前配布》

4 その他

5 次回の会議日程

令和3年10月頃

6 閉 会

村上市保育園等施設整備計画審議会委員名簿

(敬称略)

番号	氏 名	号数	備 考
1	仲 真人	1 号委員 学識経験者	新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科准教授
2	松田 洋平		村上市岩船郡小学校長会 会長
3	斎藤 誠	2 号委員 関係団体に 属する者	村上市区長会連絡協議会 会長
4	黒子 秀雄		村上市民生委員児童委員協議会連合会
5	長 千恵子		村上市主任児童委員
6	川村 三千男		村上市主任児童委員
7	黒坂 圭		医療法人 新光会 村上記念病院 事務長
8	渡辺 ひろみ		村上市家庭教育支援チーム 代表 NPO法人 村上ohanaネット 理事長
9	小川 成実	3 号委員 保育園等 保護者代表	第一保育園 父母の会 前会長
10	佐藤 正幸		あらかわ保育園 保護者会 前会長
11	井上 舞子		みのり保育園 保護者会 会長
12	和田 里砂		高南保育園 父母の会 会長
13	本間 由貴		山北そらいろ保育園 保護者会 前会長
14	中村 健		村上市岩船郡PTA協議会 理事
15	上島 秀樹	4 号委員 行政関係職員	新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部 地域福祉課 課長
事務局	中村 豊昭	村上市こども課長	
	菅原 弥生	山辺里保育園長	
	小林 みゆき	金屋保育園長	
	高橋 優子	みのり保育園長（指定管理者 社会福祉法人 颯和会）	
	斎藤 正樹	高南保育園長	
	板垣 真里子	山北そらいろ保育園長	
	山田 昌実	村上市こども課 課長補佐（子育て支援室長）	
	高橋 朗	村上市こども課 課長補佐（子育て政策室長）	

【資料 1-1】

未定稿 R3.7.8 現在

第3次村上市保育園等施設整備計画 (素案)

令和3年●月



新潟県村上市

■ 目 次 ■

1. 計画策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 保育園等を取り巻く現状と課題・・・・・・・・・・ P 3
3. 課題解決に向けた基本的な考え方・・・・・・・・・・ P 1 1
4. 具体的な整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 2
5. 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 5

1. 計画策定にあたって

(1) 計画策定の目的

人口減少や少子高齢化が進む中で、多様化するニーズに柔軟に対応し保育サービスを安定的・計画的に提供するため、平成28年に「第2次村上市保育園等施設整備計画」（以下「第2次整備計画」という。）を策定し、保育園等の施設整備や統廃合、民営化などを推進し子育て支援の充実を図ってまいりました。

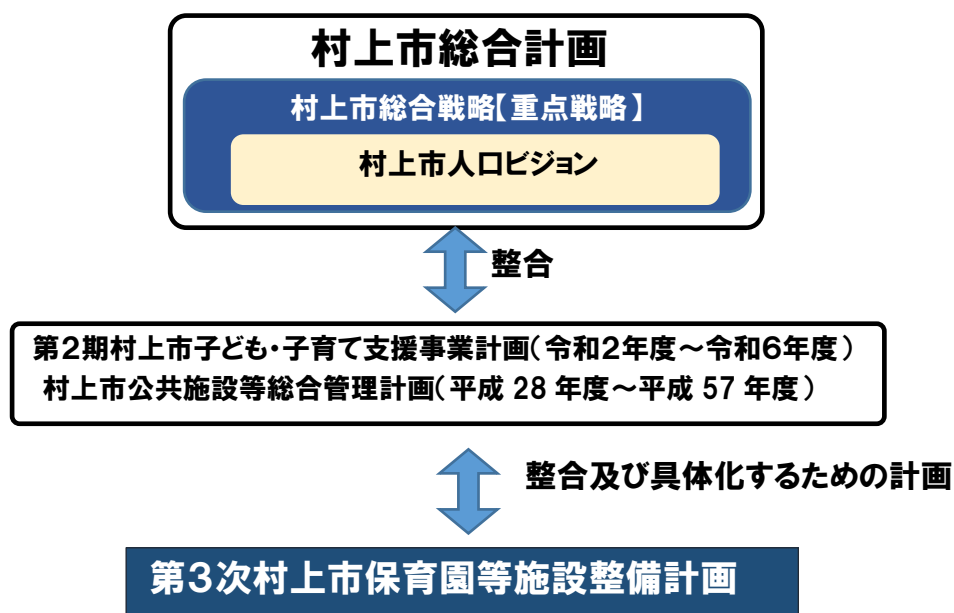
待機児童についてはゼロを維持しておりますが、3歳未満児の入園率は依然高い状態が続いています。ただ、一方で、3歳以上の児童の定員割れが生じている施設もあります。

また、保育園のほか、学童保育所や子育て支援センター事業を実施している施設の老朽化が進んでいることから、その対応が急がれるものとなっております。

このような状況を踏まえ、本計画では、令和4年度から令和8年度までの5年間の保育園等施設の在り方について再検討し、必要な保育サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、「第2次整備計画」を改定し、新たに「第3次村上市保育園等施設整備計画」（以下「第3次整備計画」という。）を策定するものです。

(2) 計画の位置付け

本計画は、「第3次村上市総合計画」に掲げている子育て施策と連携し、他の計画との整合性を図りながら、「第2期村上市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）」及び「村上市公共施設等総合管理計画（平成28年度～平成57年度）」の保育園等が関係する部分を具体化するための計画として位置付けるものとします。



（３）計画策定の基本方針

村上市総合計画との整合性を図りながら、次の基本方針により施設整備を行います。

- ①第２次整備計画の進捗状況を踏まえ、第３次整備計画は、第２次整備計画で定めた基本方針を踏襲することを基本として、子どもの最善の利益を考慮しながら整備を進めていきます。
- ②保育園等の老朽化が進行している中において、子どもの安全と良好な保育環境を確保するため、計画的に施設整備を行います。また、小中学校の統廃合により閉校となった施設の活用について努めます。
- ③３歳未満児の保育ニーズを的確に把握し、その受入れ体制の強化を踏まえた施設整備の充実を図ります。
- ④公立保育園から民間へ移管するなど、より一層の民間活力の導入を進め、計画的かつ効果的な保育サービスの充実を図ります。
- ⑤施設整備の推進にあたっては、持続可能な開発目標（SDGs）に配慮して取り組みます。

（４）計画の期間

本計画の期間は、令和４年度から令和８年度とします。なお、計画期間内においても、国の新たな施策等などの情報を見極め、今後の社会情勢等を的確に把握し、必要に応じて適宜見直しを行い計画変更も可能なものとします。

２．保育園等を取り巻く現状と課題

（１）はじめに

村上市の人口は平成２０年合併時の７０，０１９人から減少し続けており、令和３年４月現在では５７，８２５人と１３年間で１万人以上減少し、人口減少と少子高齢化の進行が大きな問題となっております。出生数の減少や若者の市外流出により急激な人口減少が課題となる中、女性の社会進出に伴う低年齢児の保育ニーズは増加しており、育児休業明けなど年度途中からの入園においては、希望する保育園に入園することが難しい状況にあります。

この状況を解消するため、令和２年度に民間保育施設の認可を行って受け皿を拡充しました。あわせて新たな保育士を確保するため会計年度任用職員の募集を行っていましたが、応募も少なく保育士不足が依然として解消されない状況にあります。

また、保育園や学童保育所などでも、施設や設備の老朽化に対する整備が依然遅れております。

このような状況を踏まえ、本市のこれまでの保育環境において抱える問題点などを整理し、今後の保育園等のあり方について検討を行う必要があります。

（２）保育園

①施設の老朽化等に伴う施設整備

村上地区の第一保育園、第二保育園、山居町保育園は昭和５０年代に建設された施設で老朽化が進んでおり、これまで適宜、施設修繕を行ってきましたが、建て替えの時期を迎えております。岩船保育園は令和２年度に外壁等の修繕を実施するなど大規模改修を行い施設の充実を図りました。

荒川地区の金屋保育園は、雨漏りなどの支障は出ておりませんが老朽化は進んでいることから児童数の推移を勘案して大規模修繕の検討を行う必要があります。

朝日地区は、平成２９年度に統廃合を行い、平成３０年度に館腰保育園の大規模改修を行い施設の充実を図りました。高南保育園と猿沢保育園は、雨漏りなどの支障は出ておりませんが老朽化は進んでいることから児童数の推移を勘案して大規模修繕の検討を行う必要があります。

山北地区は平成３１年度に、山北にじいろ保育園と山北おおぞら保育園が統合して、新たに山北そらいろ保育園となり、その際に未満児室の増築や空調設備の更新などを行い施設の充実を図りました。

公立保育園の施設状況

(令和3年4月1日現在)

地区	施設名	定員	構造	延床面積 (㎡)	建築年月日	経過 年数	備考
村上	第一保育園	90	木造平屋建	698.76	S56.11.23	39年	
	第二保育園	100	木造平屋建	676.65	S57.11.26	38年	
	岩船保育園	120	鉄筋2階建	866.55	S61.2.3	35年	
	瀬波保育園	110	木造平屋建	694.64	H7.7.1	25年	
	山辺里保育園	130	鉄骨造平屋建	1,125.96	H17.4.1	16年	
	山居町保育園	110	木造平屋建	682.17	S54.4.1	42年	
荒川	金屋保育園	120	鉄筋平屋建	779.03	S58.10.1	37年	
	あらかわ保育園	210	木造平屋建	2,013.79	H26.4.1	7年	指定管理
神林	向ヶ丘保育園	160	木造平屋建	1,302.80	H20.4.1	13年	指定管理
	みのり保育園	130	木造平屋建	1,280.24	H21.5.1	11年	指定管理
朝日	館腰保育園	100	鉄筋平屋建	996.28	S61.4.1	35年	
	高南保育園	90	鉄筋平屋建	1,160.40	H2.9.1	26年	
	猿沢保育園	90	鉄筋平屋建	884.19	H7.9.1	25年	
山北	山北そらいろ保育園	90	木造平屋建	993.31	H17.4.1	16年	

②人口減少への対応

0歳～5歳までの児童数はすべての年齢層で減少しており、平成29年から令和3年の5年間で379人減少しております。今後も人口減少と少子高齢化の流れは続くものと予想されます。

これまで、保育園の適正規模を維持するために、平成29年度に塩野町保育園を猿沢保育園に、三面保育園を館腰保育園に、上海府保育園を瀬波保育園に統合し、平成31年度には山北にじいろ保育園と山北おおぞら保育園を統合するなど、計画的に統廃合を行って参りました。これからも子どもの利益を最優先に考えて、施設の老朽化や入園児童数の推移、地域事情等に配慮しながら統廃合を行っていく必要があります。

児童数（0歳～5歳）の推移

(各年4月1日現在)

学 齢	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	比較 R3-H29
0歳	329	314	244	269	273	△56
1歳	350	337	325	259	271	△79
2歳	369	344	335	336	268	△101
3歳	370	373	339	339	331	△39
4歳	396	363	370	344	344	△52
5歳	396	396	363	368	344	△52
合計	2,210	2,127	1,976	1,915	1,831	△379

③保育園等園児数の状況

保育園等園児数は、平成29年4月で1,531人に対し令和3年4月では1,401人と5年間で130人減少しています。また、0歳児の入園率はほぼ横ばいとなっておりますが、1、2歳児の入園率は70%を超えるまで増えてきており、児童数は減ってきているものの、入園率は増加傾向にあります。

また、保育施設の定員に対する入園率は、公立私立あわせて76.5%となっておりますが、入園率が50%台の施設もあり、定員の見直しなど柔軟な対応の検討が必要とされます。

過去5か年 地区別児童数・公立私立園児数・入園率

(各年4月1日現在)

地区名	学齢	平成29年度			平成31年度			令和3年度		
		児童数	園児数	率	児童数	園児数	率	児童数	園児数	率
村上	0歳児	161	43	26.7	129	29	22.5	137	43	31.4
	1・2歳児	350	193	55.1	329	221	67.2	278	202	72.7
	3～5歳児	540	397	73.5	527	441	83.7	513	429	83.6
	計	1,051	633	60.2	985	691	70.2	928	674	72.6
荒川	0歳児	61	12	19.7	44	7	15.9	58	14	24.1
	1・2歳児	140	88	62.9	114	74	64.9	87	65	74.7
	3～5歳児	221	214	96.8	212	212	100.0	176	175	99.4
	計	422	314	74.4	370	293	79.2	321	254	79.1
神林	0歳児	47	16	34.0	35	12	34.3	31	5	16.1
	1・2歳児	100	61	61.0	98	74	75.5	91	67	73.6
	3～5歳児	166	163	98.2	153	151	98.7	153	153	100.0
	計	313	240	76.7	286	237	82.9	275	225	81.8
朝日	0歳児	46	18	39.1	26	8	30.8	33	11	33.3
	1・2歳児	89	59	66.3	86	68	79.1	60	45	75.0
	3～5歳児	161	159	98.8	127	125	98.4	121	121	100.0
	計	296	236	79.7	239	201	84.1	214	177	82.7
山北	0歳児	14	8	57.1	10	1	10.0	14	2	14.3
	1・2歳児	40	27	67.5	33	17	51.5	23	16	69.6
	3～5歳児	74	73	98.6	53	52	98.1	56	53	94.6
	計	128	108	84.4	96	70	72.9	93	71	76.3
合計	0歳児	329	97	29.5	244	57	23.4	273	75	27.5
	1・2歳児	719	428	59.5	660	454	68.8	539	395	73.3
	3～5歳児	1,162	1,006	86.6	1,072	981	91.5	1,019	931	91.4
	計	2,210	1,531	69.3	1,976	1,492	75.5	1,831	1,401	76.5

※広域入所（受託）は除く

村上市保育施設別入園児童数

令和3年4月1日現在

	地区	保育園名	年齢別入園者数								
			定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	入園率
公立	村上	第一保育園	90	3	9	11	13	16	17	69	76.7
		第二保育園	100	3	11	10	22	25	24	95	95.0
		岩船保育園	120	6	10	14	16	16	17	79	65.8
		瀬波保育園	110	3	11	14	20	19	22	89	80.9
		山辺里保育園	130	6	14	14	29	25	28	116	89.2
		山居町保育園	110	3	7	13	15	26	19	83	75.5
	地区計		660	24	62	76	115	127	127	531	80.5
	荒川	金屋保育園	120	6	10	8	14	11	15	64	53.3
		あらかわ保育園	210	8	21	28	43	49	43	192	91.4
	地区計		330	14	31	36	57	60	58	256	77.6
	神林	向ヶ丘保育園	160	3	15	17	40	30	28	133	83.1
		みのり保育園	130	5	14	18	16	21	21	95	73.1
		地区計	290	8	29	35	56	51	49	228	78.6
	朝日	舘腰保育園	100	6	6	6	17	13	18	66	66.0
		高南保育園	90	3	6	12	12	14	5	52	57.8
		猿沢保育園	90	0	8	12	12	18	15	65	72.2
	地区計		280	9	20	30	41	45	38	183	65.4
	山北	山北そらいろ保育園	90	2	8	8	23	19	16	76	84.4
	地区計		90	2	8	8	23	19	16	76	84.4
	公立計		1,650	57	150	185	292	302	288	1,274	77.2
私立	村上	認定こども園 村上いずみ園	96	3	9	12	16	16	17	73	76.0
		小規模保育事業所 ゆりかご保育園	15	5	9	1				15	100.0
		小規模保育事業所 マイマイ保育園	8		4	3				7	87.5
		小規模保育事業所 認可保育園きらら	19	3	10	5				18	94.7
	朝日	事業所内託児所 あんず保育園	19	7	4	3				14	73.7
	私立計		160	18	36	24	16	16	17	127	79.4
総計		1,810	75	186	209	308	318	305	1,401	77.8	

※広域入所は除く。

④公立保育園職員の状況

令和3年4月1日現在、市が直営で運営している公立保育園の保育士数は、産前産後休暇及び育児休業している職員を除く正職員が77人、保育士資格のある会計年度任用職員（7.5時間勤務）が34人、無資格の会計年度任用職員（7.5時間勤務）が36人で、正職員率は52.4%となっており、有資格者率は75.5%となっております。平成28年4月1日現在の正職員率は39.3%でしたので、神林地区の2園を指定管理者制度に移行したことにより、正職員率が13.1%向上はしましたが、未だに低い状況にあります。

また、保育士資格のある会計年度任用職員の募集については、ハローワークを通じての求人募集のほか、地域の回覧版による募集チラシの回覧などを行ってまいりましたが、十分な保育士の確保には至っておりません。

⑤施設周辺環境の状況

村上地区の保育園はそのほとんどが市街地にあり、敷地面積にも限界があることから保護者送迎用の駐車場や職員駐車場の確保が非常に困難となっております。そのため、朝夕の送迎時は、大変混雑し周辺の交通事情に影響を与えております。

⑥3歳未満児保育ニーズの増加

児童数や入園児童数は減少しているものの3歳未満児、特に1、2歳児の入園率は年々増加しております。令和2年度に民間事業者が小規模保育事業所を開設しましたが、村上地区を中心に入園を希望する保育園での受入れが出来ず、特に育児休業明けで年度途中からの入園希望に対しては、入園が叶わない状態が続いております。

(3) 学童保育所

①施設の老朽化等に伴う施設整備

南町学童保育所が手狭となったため、村上南小学校の空きスペースを利用した「なんしょうクラブ」を設置しております。通所児童の安全を第一に考え、統合を踏まえた新設の検討を進めてまいりましたが、具体的な整備方針が定まっておりません。

神林学童保育所は、併設している神林子育て支援センターとあわせて、平成29年度から指定管理者制度を導入しております。施設は平成3年に建設した旧西神納保育園を利用しておりますが、老朽化が進んでおります。

朝日学童保育所は、昭和63年に奥三面ダム発電所建設事務所として新潟県が建築したものを払い下げた施設で、1階部分を学童保育所として利用しておりますが、施設の老朽化が進んでおります。

学童保育所の施設状況

(令和3年4月1日現在)

地区	施設名	定員	構造	延床面積 (㎡)	建築年月	経過 年数	備考
村上	二之町学童保育所	50	木造2階建	247.80	H9.3	24年	
	南町学童保育所	40	木造2階建	201.08	H6.4	27年	
	なんしょうクラブ	50	鉄筋平屋建	173.00	S54.4	42年	学校内
	瀬波学童保育所	60	木造2階建	415.18	H22.4	11年	
	岩船学童保育所	45	木造2階建	268.50	H16.4	17年	
	山辺里学童保育所	45	鉄筋平屋建	122.04	H23.4	10年	学校内
荒川	保内学童保育所	70	木造平屋建	445.51	H28.4	5年	
	金屋学童保育所	20	鉄筋平屋建	63.75	S52.4	44年	学校内
神林	神林学童保育所	45	木造平屋建	445.63	H3.6	29年	指定管理
朝日	朝日学童保育所	40	鉄骨プレ2階建	286.49	S63.4	33年	
山北	さんぼく森のなかよし学童保育所	60	木造平屋建	994.45	H18.4	15年	指定管理

②通所児童の入所率増加

全体の児童数は年々減少傾向にあるものの、学童の入所率は各地区とも年々増加している状況です。特に瀬波学童保育所は、地区内での宅地開発等に伴い、この5年間で登録者数が27人増えております。

学童保育所登録児童数の推移

(各年４月１日現在)

地区	施設名	定員	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2	R 3
村上	二之町学童保育所 (村上小学校児童数) 【入所率】	5 0	3 7 (264) 【14.0%】	4 6 (265) 【17.4%】	4 1 (249) 【16.5%】	5 0 (248) 【20.2%】	3 6 (248) 【14.5%】
	南町学童保育所 なんしょうクラブ 計 (村上南小学校児童数) 【入所率】	4 0 5 0 9 0	3 2 2 2 5 4 (292) 【18.5%】	3 3 2 1 5 4 (286) 【18.9%】	4 2 2 6 6 8 (295) 【23.1%】	5 0 2 6 7 6 (297) 【25.6%】	3 6 3 6 7 2 (283) 【25.4%】
	瀬波学童保育所 (瀬波小学校児童数) 【入所率】	6 0	5 1 (254) 【20.1%】	6 3 (237) 【26.6%】	6 8 (236) 【28.8%】	7 6 (227) 【33.5%】	7 8 (216) 【36.1%】
	岩船学童保育所 (岩船小学校児童数) 【入所率】	4 5	2 8 (166) 【16.9%】	2 3 (147) 【15.6%】	2 4 (140) 【17.1%】	2 4 (123) 【19.5%】	2 6 (125) 【20.8%】
	山辺里学童保育所 (山辺里小学校児童数) 【入所率】	4 5	4 0 (190) 【21.1%】	4 8 (187) 【25.7%】	5 0 (182) 【27.5%】	4 4 (173) 【25.4%】	4 8 (180) 【26.7%】
荒川	保内学童保育所 (保内小学校児童数) 【入所率】	7 0	7 4 (347) 【21.3%】	8 8 (340) 【25.9%】	8 8 (324) 【27.2%】	9 0 (327) 【27.5%】	9 3 (340) 【27.4%】
	金屋学童保育所 (金屋小学校児童数) 【入所率】	2 0	1 7 (105) 【16.2%】	2 4 (108) 【22.2%】	2 0 (98) 【20.4%】	1 9 (90) 【21.1%】	1 9 (96) 【19.8%】
神林	神林学童保育所 (神林地域小学校児童数) 【入所率】	4 5	5 3 (379) 【14.0%】	6 1 (375) 【16.3%】	5 9 (368) 【16.0%】	6 8 (345) 【19.7%】	7 4 (350) 【21.1%】
朝日	朝日学童保育所 (小川・朝日さくら小学校児童数) 【入所率】	4 0	3 8 (274) 【13.9%】	4 3 (261) 【16.5%】	4 2 (255) 【16.5%】	4 1 (236) 【17.4%】	4 0 (230) 【17.4%】
	朝日みどり小学校 (朝日みどり小学校児童数) 【入所率】		1 7 (108) 【15.7%】	1 5 (111) 【13.5%】	9 (97) 【9.3%】	1 1 (96) 【11.5%】	8 (86) 【9.3%】
山北	さんぼく森のなかよし 学童保育所 (山北地区小学校児童数) 【入所率】	6 0	4 3 (158) 【27.2%】	3 1 (158) 【19.6%】	3 7 (149) 【24.8%】	4 6 (146) 【31.5%】	4 4 (144) 【30.6%】
計			4 5 2 (2,537) 【17.8%】	4 9 6 (2,475) 【20.0%】	5 0 6 (2,393) 【21.1%】	5 4 5 (2,308) 【23.6%】	5 3 8 (2,298) 【23.4%】

※さんぼく森のなかよし学童保育所のH 3 0以前の児童数には、山北やまゆり学童保育所と山北はまゆり学童保育所の合計数を記載。

※各小学校児童数は各年５月１日現在

③職員の確保

学童保育所の開所時間は平日が小学校放課後から午後６時半まで、土曜日や夏休みなどの長期休業中は午前７時３０分から午後６時３０分までとなっており、この開所時間に対応するための職員

確保が困難な上に、災害などの臨時的な学校休業の際にも同様の対応が必要となるため、大変苦慮している状況です。

④民間活力の導入

山北地区の学童保育所は平成２３年度から、神林学童保育所は、神林子育て支援センターとともに平成２９年度から、指定管理者制度に移行しました。保内学童保育所については指定管理者制度への移行について検討を重ねてきましたが、具体的な方針が定まっておりません。

（４）病児・病後児保育

平成２９年７月に荒川地区にあらかわ病児保育センターを開所し、令和２年１２月には村上地区にむらかみ病児保育センターを開所しました。いずれも指定管理者制度による管理運営を行っております。

また、令和元年１２月からは朝日地区において、医療法人が設置運営を始めた病児保育事業に対し、補助金を交付し運営を支援しております。

（５）子育て支援センター

子育て支援センターは市内６か所で事業を実施しており、その内、山辺里、上海府、朝日の各子育て支援センターは市が直営で運営を行い、荒川、神林、山北の各子育て支援センターは指定管理者が管理運営を行っております。利用対象児童が就学前児童となっており、小学生の兄弟と一緒に利用することが出来ないことや、休日の利用希望もあるため、ニーズにあった運営方法などが課題となっております。

神林子育て支援センターは平成３年に建設した旧西神納保育園を利用しておりますが、施設の老朽化が進んできております。

上海府子育て支援センターは平成１２年に建築した旧上海府保育園を利用しておりますが、設備の老朽化が進んできております。

朝日子育て支援センターは平成１４年に建築した旧三面保育園を利用しておりますが、設備の老朽化が進んできております。

子育て支援センターの施設状況

（令和３年４月１日現在）

地区	施設名	構造	建築年月	経過年数	備考
村上	山辺里子育て支援センター	鉄骨平屋建	H17.4	１６年	
	上海府子育て支援センター	木造平屋建	H12.10	２０年	
荒川	荒川子育て支援センター	木造平屋建	H26.4	７年	指定管理
神林	神林子育て支援センター	木造平屋建	H3.6	２９年	指定管理
朝日	朝日子育て支援センター	鉄筋平屋建	H14.4	１９年	
山北	山北子育て支援センター	木造平屋建	H18.4	１５年	指定管理

3. 課題解決に向けた基本的な考え方

(1) 保育園

施設や設備の老朽化が進んでいる保育園については、良好な保育環境と園児の安全を確保するためにも、早急に施設の建替えや改修が必要です。あわせて、送迎時の保護者や園児の安全確保のためにも送迎用駐車場や職員駐車場の確保に努めます。

また、入園率は増加傾向にあるものの、児童数の減少に伴い園児数は減少しております。施設の老朽化や小学校の統廃合など地域の事情等に配慮しつつ、子どもの利益を最優先に考えながら、統廃合に取り組みます。その際、3歳未満児の受け皿を確保し、民間活力の導入を図りながら保育士不足の解消に努め、正職員率や有資格者率の向上に取り組みます。

(2) 学童保育所

老朽化が著しい施設については、安全を確保するために空き施設への移転や、空き教室の活用などの検討を行います。入所児童が増加傾向にある施設は、保育面積を拡大するため、施設の増築や空き施設への移転、空き教室の活用などの検討を行います。

また、学童保育所支援員の確保に努め、あわせて、民間活力の導入についても検討し多様なニーズに応えるよう努めます。

(3) 病児・病後児保育

市全域に病児・病後児保育のサービスを提供できるよう、引き続き山北地区への設置についてその事業類型も含めて検討を行います。

(4) 子育て支援センター

施設や設備の老朽化が進んでいる施設については、安全の確保や利便性を向上させるために空き施設への移転を中心に検討を行います。あわせて、他の事業との併用が出来るような複合的施設の設置など、保育サービスの相乗効果を高める方法について検討を行います。

4. 具体的な整備計画

(1) 保育園

①村上地区

第一保育園、第二保育園、山居町保育園は築40年前後経過し、老朽化が進んでいることから、民設民営を基本とした民間活力の導入を図りながら、この3園の統廃合による保育園の設置に向けて取り組みます。その際、保育園の適正規模に配慮しながら、3歳未満児の受入れの拡充や送迎用駐車場及び職員駐車場の確保が図られるよう努めます。

また、3歳未満児の受入れ状況を勘案しながら、民間事業者が整備を行う小規模保育事業などの施設整備補助事業を推進します。

瀬波保育園と山辺里保育園は、園児数の推移や老朽化の状況を見ながら、未満児保育の受入れ拡充等のための増築や大規模修繕を行います。

②荒川地区

金屋保育園は、老朽化が進んでいることから児童数の推移を勘案しながら大規模修繕を行います。

また、児童数の推移を見ながら長期的な視点に立って、定員の見直しや統廃合などの検討を行います。

③神林地区

指定管理者制度を導入したみのり保育園、向ヶ丘保育園は、築10年が経過したことから、状況を勘案しながら設備などの更新について取り組みます。

④朝日地区

高南保育園、猿沢保育園は、老朽化が進んでいることから状況を勘案しながら大規模修繕を行います。

また、児童数の推移を見ながら長期的な視点に立って、定員の見直しや統廃合などの検討を行います。

⑤山北地区

山北そらいろ保育園は、児童数などの状況を勘案しながら施設の修繕を行います。

(2) 学童保育所

①村上地区

南町学童保育所となんしょうクラブは、空き教室や空き施設の有効利用をした統廃合に組み込みます。

②荒川地区

保内学童保育所は、児童数の増加傾向もあり幅広いニーズに応えるため、指定管理者制度などの民間活力の導入に取り組みます。また、保育面積の確保に向けて、施設の増築や空き教室、空き施設を有効利用に取り組みます。

③神林地区

神林学童保育所は、引き続き指定管理者制度を活用しながら、施設の老朽化が進んでいることから、旧神納東小学校など閉校した施設の活用に取り組みます。

④朝日地区

朝日学童保育所は、施設の老朽化が進んでいることから、小学校の空き教室や空き施設の活用を検討します。また、学童保育に対する幅広いニーズに応えるため、指定管理者制度などの民間活力の導入についても検討します。

⑤山北地区

さんばく森のなかよし学童保育所は、引き続き指定管理者制度を活用し、児童数などの状況を勘案しながら施設の修繕等に取り組みます。

(3) 病児・病後児保育

①山北地区

病児保育の設置について、その事業類型や設置場所について検討します。

②山北地区以外

あらかわ病児保育センターとむらかみ病児保育センターは、引き続き指定管理者制度を活用しながら適正な管理運営を行います。また、朝日地区の医療法人が運営している病児保育事業に対し、引き続き運営を支援します。

(4) 子育て支援センター

①村上地区及び朝日地区

上海府子育て支援センター及び朝日子育て支援センターは、設備の老朽化が進んでいることから、旧神納東小学校など閉校した施設の活用について取り組みます。あわせて指定管理者制度など民間活力の導入に努めます。

②荒川地区及び山北地区

荒川子育て支援センター及び山北子育て支援センターは、引き続き指定管理者制度を活用しながら、利用者数などの状況を勘案して施設の修繕等に取り組みます。

③神林地区

神林子育て支援センターは、引き続き指定管理者制度を活用し、施設の老朽化が進んでいることから、旧神納東小学校など閉校した施設の活用に取り組みます。

5. 資料

資料として委員名簿と開催経過を記載する

【資料1-2】

審議会から第3次村上市保育園等施設整備計画（素案）への意見

審議会での意見			<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の対応を計画の基本方針に記載 ・空き施設の活用についてを基本方針に記載 ・保育士などの職員確保 ・民設民営化の推進
文書による意見	保育園	村上地区	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している園舎の新築統合 ・保育士の確保 ・民設民営化による早期整備 ・村上総合病院跡地の活用 ・3園の指定管理者制度の導入
		荒川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の確保 ・金屋保育園の整備
		神林地区	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の確保
		朝日地区	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の確保 ・老朽化していく園舎を補修 ・高南保育園、猿沢保育園の整備
		山北地区	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の確保
	学童保育	村上地区	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している南町学童の整備 ・なんしょうクラブと南町学童の統合 ・閉校した校舎の活用 ・空き教室の利用
		荒川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・定員の増加 ・閉校した校舎の活用 ・空き教室の利用
		神林地区	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している建物の整備 ・閉校した校舎の活用 ・空き教室の利用
		朝日地区	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している建物の整備 ・閉校した校舎の活用 ・空き教室の利用
		山北地区	無
	病児保育	山北地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内にあるのが望ましいが、小児科医がない ・徳洲会病院近くに病児保育施設の整備
		以外	無
	支援センター	村上地区	<ul style="list-style-type: none"> ・上海府支援センターの整備 ・休日利用、兄弟児と一緒に遊べる
		荒川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・休日利用、兄弟児と一緒に遊べる
		神林地区	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している建物の整備 ・休日利用、兄弟児と一緒に遊べる
		朝日地区	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している建物の整備 ・休日利用、兄弟児と一緒に遊べる
		山北地区	<ul style="list-style-type: none"> ・休日利用、兄弟児と一緒に遊べる

主な意見

- ① 3歳未満児への対応
- ② 施設の老朽化に伴う整備
- ③ 保育士の確保
- ④ 空き施設、空き教室の活用
- ⑤ 民設民営の活用
- ⑥ 支援センターの就学児の利用、休日利用